

脱炭素社会の実現に向けて意見交換



中泊風力発電所を取得し、新たにミラーズウィンドパワー青森中泊発電所として運用を開始する「MIRARTHホールディングス株式会社」は4月24日(木)、町役場を訪れ、町長と脱炭素社会実現に向けた意見交換会を行いました。

町長は「発電所が地域から愛される存在となり、環境を守り、再生可能エネルギーを十分に活用し、若者や子供たちがこの土地に生まれ、この土地で学び、この土地に生きることができてよかったと思える未来をみなさんと一緒につくっていききたい」と話しました。

中泊町消防団 団長に委嘱状を交付

任期満了となった中泊町消防団長に成澤清志さんが再任され、5月1日(木)町長から辞令が交付されました。

成澤団長は「団員1人ひとりの力があってこそ地域の安全が守られます。引き続き団員の育成と活動環境の整備にも力を注ぎたい」と意欲を語りました。

成澤団長の任期は令和11年4月30日までです。



奥津軽を舞台に新作長編映画を製作



今年の夏から撮影が始まる、五所川原市と中泊町を舞台の中心とした映画「津軽綺譚(仮題)」の山根高文監督と出演者らが5月9日(金)、中泊町を訪れ町長に制作の意気込みを語りました。

テレビ局の記者時代に津軽中里駅を訪れ、地吹雪を体験したことから本作の着想を得たという山根監督に対し町長は「たしかに冬生活するには厳しい地域。だからこそ、そこに生きる人々や地域の良さを表現してもらいたい」と期待を寄せました。

作物の豊かな実りを願って

こども保育園で農業体験

こども保育園は5月12日(月)、町内の畑でじゃがいもの植えつけ体験を行いました。

この日植えた品種はメイクイーンとキタアカリで、今後は散歩の時間に立ち寄ってじゃがいもの様子を確かめ、雑草を抜くなどして成長を見守ります。

園児たちは「土があったかくて気持ちよかった」「はやく大きくなってほしい」と話し、採れたらどんな料理を食べたいですかと聞くと、カレーライス、肉じゃが、ポテトサラダなど思い思いの料理を挙げ、収穫を楽しみにしていました。

秋には園児による収穫体験も行う予定です。



奈良清治さんに旭日単光章を授与



県から高齢者叙勲を受けた奈良清治さんは5月12日(月)、町役場を訪れ町長から旭日単光章を授与されました。

奈良さんは中里町時代の平成8年から中泊町に合併後の平成23年まで町議会議員としてご尽力されました。

奈良さんは「受賞できたことは本当に光栄。これからも町のために活動していく」と話し、町長は「これまでの町への協力に感謝申し上げます。今後も変わらぬご活躍をお願いいたします」と感謝の思いを述べました。

中里小学校5年生が田植え体験

中里小学校5年生の児童が5月16日(金)、町内の田んぼで毎年恒例の田植え体験を行いました。

この日は晴天で絶好の田植え日和となり、児童たちは裸足で田んぼの土の感触を楽しんでいました。初めての田植えで足をとられ苦戦する姿や、稲をひとつずつ丁寧に植える姿が見られました。

田植え体験は今年で11年目を迎え、稲刈り後は精米したお米を児童に配布する予定です。

